

平成 29 年度 静岡市立高等学校 学校経営構想（全日制）

I 教育目標

「質実剛健」の気風を継承し、校訓「正しく、強く、明るく」を基に、「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた創造的な人間を育成する。

II 重点目標

生徒一人ひとりの自立（自分の力を発揮して人の役に立つ人間になること）に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により、高校生活（学習、部活動、学校行事等）を通して、3つの資質・能力（自己有用感、視野の広さ、主体性）を生徒一人ひとりが自ら育むように、教職員、保護者、同窓会、地域等が連携し、皆で支援する。

- ◎「文武両道」 学習、部活動、学校行事、生徒会活動等に精一杯取り組むこと。
- ◎「未来起点」 未来（将来）の目標を明確にし、そこを起点として物事を考え、計画し、今すべきことに真摯に取り組むこと。
- ◎「凡事徹底」 日常の生活を大切に、当たり前なことを当たり前にする。即ち、習慣化すること。
①あいさつ ②服装 ③清掃（整理整頓） ④感謝 ⑤生活リズム ⑥授業第一 ⑦My凡事

III 具体的目標と全体の取組

1 基本的な生活習慣の確立

生徒の視点

- (1) 清々しい挨拶、品位ある身だしなみ 及び 正しい言葉遣いの習慣化
- (2) 心身の健康管理、清掃の励行 及び 規則正しい生活習慣の確立
- (3) 自他を尊重する心や態度、規範意識 及び 人権意識の向上
- (4) 読書の習慣化 及び 情報・学習センターとしての図書館の積極的な利用

2 特別活動、部活動等への主体的な取組

生徒の視点

- (1) 学校行事、HR活動 及び 生徒会活動への積極的な参加
- (2) 社会貢献活動（ボランティア活動）及び 地域活動への積極的な参加
- (3) 部活動を通じた人間性、自主性・社会性 及び 個性・能力の伸長
- (4) 国際交流、海外語学研修、海外科学研修等を通じた国際感覚の伸長

3 開かれた学校づくり、安心・安全な学校づくりの推進

保護者・地域の視点

- (1) 学校評議員による学校評価等、公聴活動を通じた教育活動の点検 及び 改善
- (2) ホームページ、学校案内等による積極的な情報発信
- (3) P T A、同窓会等関係諸団体との連携による教育活動の推進
- (4) 防災教育、交通安全教育の推進 及び 危機管理体制の充実

4 土曜授業の検証・改善及び円滑な実施

学校運営の視点

- (1) 2年間の「土曜授業」の検証 及び 3年目の円滑な実施、継続の検討
- (2) 授業時数、部活動時間 及び 家庭学習時間の確保（適切な土曜授業の設定）
- (3) 土曜公開授業等を通じた開かれた学校づくりの推進
- (4) 教職員のワークライフバランスに配慮した校内体制等の整備

5 確かな学力の育成、学力保障の推進

教職員の視点

- (1) アクティブ・ラーニングを取り入れた授業等、魅力ある授業づくりの推進（授業公開、研究授業の実施）
- (2) シラバスの効果的活用 及び 教科指導法の研究
- (3) 授業アンケートによる授業評価の実施と活用
- (4) 新テスト 及び 次期学習指導要領への対応の準備

6 キャリア教育、進路指導及び リーダー育成等の推進

教職員の視点

- (1) 入学時初期指導の徹底 及び 3年間を見通したキャリア教育（BFプラン）の充実
- (2) 課外学習、勉強合宿、模擬試験等の円滑な運営 及び 進路指導体制の確立
- (3) 生徒、保護者への進路情報の提供 及び 進路面接の充実
- (4) 地域社会、国際社会で活躍できるリーダーの育成 及び 主権者教育の実施

7 科学探究科の指導の充実と次期SSHへの準備

教職員の視点

- (1) ISEP（Ichiko Science Education Program）の検証・改善 及び 5年目の運用
- (2) 少人数 及び 習熟度別指導（理・数・英）の工夫 並びに ICTを活用した指導教材の研究開発
- (3) 課題研究の充実 及び 理数科研究発表会、科学技術コンテスト等への積極的な参加
- (4) 普通科における探究活動の検討 及び 次期SSH申請の準備

(補足)

I 教育目標 H28 年度に同じ

II 重点目標 **合言葉 2・3・3・Allで自立!** **9つ(3×3)の場面や機会を意識して**

【最終目標としての「自立」】生徒一人ひとりが自分の力を発揮することで、自分らしく生きるとともに、人や社会と関わりをもち人や社会に貢献し、それによって自らも生きる喜びを得て自己実現を図るという、最終的な目的としての「自立」を重点目標の中に明確化し、そのための資質・能力を育成する場がこの学校であることを示した。

【視点と取組】将来の目標(キャリア意識)の育成と高校生活への反映。

「未来起点」と「凡事徹底」。未来と現在の2つを常に意識すること。

【育てたい3つの資質・能力】自己有用感(自己肯定感)、視野の広さ、主体性。

【高校生活の3つの場面や機会を通して】学習、部活動、学校行事・生徒会活動等を通して。

【皆(A11)で】保護者、同窓会等関係諸団体、地域等との連携。全職員での課題や情報の共有と連携・協力。

<p>(生徒の姿)</p> <p>生徒一人ひとりの「自立」(自分の力を発揮して人の役に立つ人間になること)に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により(未来と現在を往還し)、高校生活(3つのライフ:学習、部活動、学校行事等)を通して、3つの資質・能力(自己有用感、視野の広さ、主体性)を、生徒一人ひとりが自ら育むようになる。</p>	<p>(教職員、保護者、学校関係者等の支援)</p> <p>生徒一人ひとりの「自立」(自分の力を発揮して人の役に立つ人間になること)に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により(未来と現在を往還し)、高校生活(3つのライフ:学習、部活動、学校行事等)を通して、3つの資質・能力(自己有用感、視野の広さ、主体性)を、生徒一人一人自らが育むように、皆で支援する(働きかける)。</p>
---	---

III 具体的目標と全体の取組

1 基本的な生活習慣の確立 H28(品位ある)→H29(基本的な)に変更

- (1) H28に取り組んだ「挨拶」の意味を今年度も生徒、教職員で考え指導に生かす。
- (2) (4)H28に同じ。
- (3) いじめの根絶、良好な生徒間の人間関係の構築、規範意識及び人権意識の育成。

2 特別活動、部活動等への主体的な取組

- (1), (2), (3), (4) H28に同じ。それぞれの活動の目標やねらいを再確認し、H29重点目標を意識し取り組む。

3 開かれた学校づくり、安心・安全な学校づくりの推進

- (1), (2), (3), (4) H28に同じ。多くの教職員が変わる中、分掌業務を確実に引き継ぎ、開かれた学校づくり、安心・安全な学校づくりを推進する。特に、HPによる広報等、積極的に情報発信を行う。

4 土曜授業の検証・改善及び円滑な実施

- (1) 研究指定3年目。成果と課題を整理・検証し、継続の是非を検討。
- (2), (3), (4) H28に同じ。3年目の土曜授業を確実に実施する。

5 確かな学力の育成、学力保障の推進

- (1) 都市立5校のユニットによるアクティブ・ラーニング(AL)の研究、授業改善
- (2), (3), (4) H28に同じ。ALの評価、観点別評価等、評価について継続研究、研修。新テスト及び次期学習指導要領等の情報収集と対応の準備

6 キャリア教育、進路指導及びリーダー育成等の推進

- 生徒一人ひとりの自立を目指すキャリア教育を、進路指導に限らず、全ての学校教育活動を通じて行うことを示した。
- (1), (2), (3), (4) H28に同じ。次期SSH申請に際して、普通科の総合的な学習の時間(BFプラン)、探究活動及び教育課程の編成の検討。リーダー育成の場の設定。主権者教育の充実。

7 科学探究科の指導の充実と次期SSHへの準備 H28(特色化と充実)→H29(充実と次期への準備)に変更

- (1), (2), (3) H28にほぼ同じ。5年目のSSH活動の確実な実施。
- (4) 5年間のSSH活動の検証。次期SSH申請への準備(普通科における探究活動の検討、総合的な学習の時間・BFプランの内容検討、教育課程の編成の検討。)

(課題: H29年度に研修等を通じて確認・整理すること)

育てたい資質・能力	PDCA、自己目標シートへの反映
・学習 → 各教科で育てたい資質能力	①学校経営構想、グランドデザインの共有
・部活動 → 活動目標、活動計画	②自己目標シートへの反映
・学校行事 → 目的、ねらい	③振り返り、PDCA